

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組 ～ 7 組

教科担当者：

使用教科書： （ 実教出版株式会社 家庭基礎 気づく力築く未来 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
【学びに向かう力、人間性等】	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
<p>1. これからの人生について考えてみよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができるようにする。 自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通して考えを表現することができるようにする。 自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の自分ごと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとする態度を養う。 	<p>・指導内容</p> <p>「家庭基礎」を学ぶ意義 生涯発達と発達課題 ライフステージの特徴 少子高齢社会 男女共同参画社会 生活設計</p> <p>・教材</p> <p>教科書・資料集 ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通して考えを表現することができる。 自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の自分ごと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。 	○	○	○	3
<p>2. 自分らしい生き方と家族</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解する。 生活にかかわる労働の意義や課題を理解し、現在の生活時間の状況をふまえて、生活時間と労働との関係について課題を見つけることができるようにする。 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解する。 家族に関する法律についての知識を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができるようにする。 家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができるようにする。 家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度を養う。 労働の意義や役割、労働時間と生活時間とのかかわりについて関心を持ち、現代の家族・家庭が抱える課題を見いだそうとする態度を養う。 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持つようとする態度を養う。 家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとする態度を養う。 	<p>・指導内容</p> <p>自立と共生 青年期の発達課題 ライフキャリア ワークライフバランス ライフサイクルと家族の変化 世帯構成と家族の機能 現代家族の抱える問題と支援 家族法の理念と背景 時代に応じた民法改正 家族に関する法律指導事項</p> <p>・教材</p> <p>教科書・資料集 ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 生活にかかわる労働の意義、また、現在の労働環境などについて理解できる。 現在の生活時間の状況をふまえて、生活時間と労働との関係について理解できる。 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 家族に関する法律についての知識を身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができる。 家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。 労働の意義や役割、労働時間と生活時間とのかかわりについて関心を持ち、現代の家族・家庭が抱える課題を見いだそうとする。 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持つようとしている。 家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。 	○	○	○	6

1 学 期	<p>4. 高齢者とかかわる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会の現状や課題について理解し、課題解決に向けて考えをまとめることができるようにする。 ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解する。 ・高齢者の生活における地域社会の役割、地域福祉の重要性について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の課題の発見、解決の方向を導き出すことができるようにする。 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとする態度を養う。 	<p>・指導内容</p> <p>高齢社会の現状と課題 高齢社会を支えるしくみ</p> <p>・教材</p> <p>教科書・資料集 ワークシート</p> <p>・一人 1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会の現状や課題について理解し、課題解決に向けて考えをまとめることができる。 ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解できる。 ・高齢者の生活における地域社会の役割、地域福祉の重要性について理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の課題の発見、解決の方向を導き出すことができる。 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。 	○	○	○	4
	<p>5. 社会とかかわる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解する。 ・ボランティア活動の意義について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができるようにする。 ・自分たちの暮らす地域の福祉について、調査などを行い、自分でできることは何かを導き出すことができるようにする。また、参加したい活動についてレポートにまとめることができるようにする。 ・支えあう社会とは何かを主体的に考え、社会福祉についての考えをまとめることができるようにする。また、社会において自分のできることは何かを導き出すことができ、それを支えあいの活動などの実践に生かすことができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支えあいのしくみについて意欲的に理解しようとする態度をやしなう。 	<p>・指導内容</p> <p>福祉と社会保障制度 共助とボランティア</p> <p>・教材</p> <p>教科書・資料集 ワークシート</p> <p>・一人 1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。・ボランティア活動の意義について理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 ・自分たちの暮らす地域の福祉について、調査などを行い、自分でできることは何かを導き出すことができる。また、参加したい活動についてレポートにまとめることができる。 ・支えあう社会とは何かを主体的に考え、社会福祉についての考えをまとめることができる。また、社会において自分のできることは何かを導き出すことができ、それを支えあいの活動などの実践に生かすことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支えあいのしくみについて意欲的に理解しようとしている。 	○	○	○	4
	<p>9. 消費行動を考える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができるようにする。 ・消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけるようにする。 ・消費者の権利と責任などについて理解できるとともに、現代の消費生活の課題について認識できるようにする。 ・家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができるようにする。 ・多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができるようにする。 ・消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができるようにする。 ・消費行動と環境とのかわりについて、生活と関連させながら課題を見つけ、解決の方向性を判断することができるようにする。 ・環境に関するグラフなどから、生活における消費行動の問題点を導き出すことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかわりについて積極的に理解する。 	<p>・指導内容</p> <p>消費行動と意思決定 消費生活の現状と課題 契約 消費の多様化と消費者信用 消費者の権利と責任 消費生活に関する法律 ライフスタイルと環境 消費生活とSDGs</p> <p>・教材</p> <p>教科書・資料集 ワークシート</p> <p>・一人 1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 ・消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 ・消費者の権利と責任などについて理解できるとともに、現代の消費生活の課題について認識できる。 ・家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 ・多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 ・消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができる。 ・消費行動と環境とのかわりについて、生活と関連させながら課題を見つけ、解決の方向性を判断することができる。 ・環境に関するグラフなどから、生活における消費行動の問題点を導き出すことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかわりについて積極的に理解しようとする。 	○	○	○	4
	<p>10. 経済的に自立する</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できるようにする。 ・短期・長期的経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができるようにする。 ・将来のライフイベントとその費用を考慮することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとする態度をやしなう。 	<p>・指導事項</p> <p>家計と経済の関わり 家計の管理 人生設計とお金 リスク管理と資産形成</p> <p>・教材</p> <p>教科書・資料集 ワークシート</p> <p>・一人 1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 ・短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 ・将来のライフイベントとその費用を考慮することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。 	○	○	○	4
定期考査				○	○		1

2 学 期	<p>3. 子どもとかかわる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけようとする。 生命の尊さ、子育ての意義について理解しようとする。 子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とかかわり、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できるようにする。 <p>【思考・判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができるようにする。 子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの世界について、自分の子どもを思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら、理解しようとする態度を養う。 子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持つようとする態度を養う。 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考える姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 子どもの誕生 子どもの世界 心身の発達、発達とかかわり方 生活習慣と遊び 育児環境と支援 子どもの権利条約 ワークシート 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とかかわり、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの世界について、自分の子どもを思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら、理解しようとする。 子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持つようとしている。 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 	○	○	○	8
	<p>7. 衣生活をつくる</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できるようにする。 衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができるようにする。 衣類の購入から廃棄まで、計画的な衣生活を営む知識を身につけるようにする。 材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できるようにする。 衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができるようにする。 衣類の購入から廃棄まで、計画的な衣生活を営む知識を身につける。 材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする態度を養う。 基礎縫いの確認のための実習に対し、積極的に取り組もうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 被服の機能 衣生活計画 被服整理 被服実習（工口バッグ） ワークシート 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。 衣類の購入から廃棄まで、計画的な衣生活を営む知識を身につけている。 材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。 衣類の購入から廃棄まで、計画的な衣生活を営む知識を身につけている。 材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。 基礎縫いの確認のための実習に対し、積極的に取り組もうとする。 	○	○	○	10
	<p>8. 住生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住まいの役割・機能について、地域の特性などをふまえて調査・研究することができる。 日本独特の生活様式と、それに伴う住まいの特徴を理解しようとしている。 住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解しようとしている。 安全で快適な住まいや、社会環境・地域環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができるようにする。 ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深めることができるようにする。 暮らしやすい住まいについて、住空間だけでなく、周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 住まいの機能 日本と世界の住文化 ライフステージと住まい 平面図の理解 住宅政策と住まいの課題 ワークシート 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住まいの役割・機能について、地域の特性などをふまえて調査・研究ができる。 日本独特の生活様式と、それに伴う住まいの特徴を理解している。 住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 安全で快適な住まいや、社会環境・地域環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができる。 ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深めることができる。 暮らしやすい住まいについて、住空間だけでなく、周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうとする。 	○	○	○	8
定期査			○	○		1	

3 学 期	<p>6. 食生活をつくる</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食文化について、成り立ちや特徴を理解できるようにする。 食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できるようにする。 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができるようにする。 食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解する。 栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、献立を作成することができるようにする。 調理実習を通して、日常の食事に必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができるようにする。 栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事に必要な判断ができるようにする。 調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組むことができる。現在の日本の食生活における課題について調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする態度を養う。 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとする態度を養う。 調理実習においては、積極的に参加し、取り組もうとする態度を養う。 	<p>・指導事項</p> <p>日本食文化とその特徴 食生活とライフステージ 食生活の課題 食品の栄養素とからだの成分 五大栄養素と食品 食品の選び方 保存 食品衛生と安全 食料自給率とSDGs 食事計画と調理 調理実習</p> <p>・ワークシート</p> <p>一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食文化について、成り立ちや特徴を理解できる。 食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。 栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、献立を作成することができる。 調理実習を通して、日常の食事に必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。 栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事に必要な判断ができる。 調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組むことができる。現在の日本の食生活における課題について調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとしている。 調理実習においては、積極的に参加し、取り組もうとしている。 	○	○	○	16	
	定期考査							1
							合計	70

科目（講座名）	子どもの発達と保育	2単位	自由選択
教科書	子どもの発達と保育 新訂版（実教出版）	担当教諭	
副教材			

学習の目標

- ・乳幼児の発育・発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。
- ・保育者を目指す者への自覚を促し、実践的な学習を通して保育者としての役割を身につける。
- ・子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

授業内容

- 1 子どもとの接し方 言語能力の伸長を図る
- 2 子どもの発達の特性 子どもの発達と保育環境 児童観
- 3 発達過程 胎児・乳幼児の身体的生理的特徴 精神的発達 人間関係の発達
- 4 保育 保育とは 家庭保育と集団保育 保育者の役割
- 5 子どもの生活 栄養と食事 衣生活 遊び(実習) 生活習慣の形成 健康管理と事故防止
- 6 福祉 児童福祉について 子育て支援

学習方法

体験的学習を通してプリントを使い学習する。
各自教科書を使いワークシートで学ぶ。
レポート作成や作品制作を通してまとめる力や表現力をつける。

評価の観点

関心・意欲・態度	乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育に関心を持ち、子どもの健全な成長を図ることを目指し意欲的に取り組み実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	子どもの発達をふまえ、現状を把握し課題を見つけ、解決を目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用し工夫する能力が身につけている。
知識・理解	子どもの発達の特徴、子どもの生活と保育などに関する知識を身につけ、保育の必要性について理解している。
技能	子どもの発達の特徴、子どもの生活と保育に関する基礎的・基本的技術を総合的に身につけ、適切に関わることができる。

評価方法

- 1 定期テスト
- 2 レポート、課題取り組み状況
- 3 作品制作取り組み状況、発表等 出席状況などにより総合的に判断し評価する。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	26	1子どもの発達 の特性	発達と乳幼児期の意義	乳幼児期が人間の発達の基礎であることが分かる。 子どもの発達と保育環境の関わりを知り環境整備の必要性が分かる。子どもは育つ力を持っていることを理解する。児童観の変化について理解し、「子どもの権利条約」の意義を学び、子どもの良い理解者になることを目指す。
	発達と保育環境				
	5		4子どもの保育	児童観と発達観	
	6			保育とは 家庭保育と集団保育 保育者の役割	
7	5子どもの福祉	児童福祉について 子育て支援	子どもに関する諸制度について関連して学ぶ。		
2	9	28	2子どもの発達 の過程	子どもの発育	胎児から乳幼児までの発育・発達を知り、適切に対応できるようにする。 生活習慣の意義を学び、親の生活習慣が子どもに与える影響を知る。 健康管理と家庭内事故の防止のためチャイルドビジョン等の実習を通して考える。
	子どもの精神発達				
	人間関係の発達				
	3子どもの生活		生活習慣の形成		
10	3子どもの生活	健康管理と事故防止	対象年齢を設定し、生活技術や知識を学ぶことができる絵本を作成する。 対象年齢を設定し、絵本を選び読み聞かせの練習、まとめとして発表を行い相互に評価する。		
11		子どもの遊び			
12	布絵本の制作実習 読み聞かせ実習				
3	16	3子どもの生活		生活と養護 離乳食実習	乳幼児の栄養について乳汁栄養、離乳食など保体とのかかわりを意識させ、乳幼児の味覚の発達や生活習慣の確立について考えさせる。
1					
2					
3	3				